

読んでもらえる「議会だより」を目指して

10月25日 町村議会広報研修会
26日 群馬県吉岡町

「分かりやすく伝わる広報誌の表記」と題して講演された赤羽根博之氏からは、広報紙を読んで頂くための3つのマナーを学びました。

1.文章を短く書きましょう
多くの人は長い文章を書くことが良いと考えているが、長いほど伝わりにくくなってしまふ。

2.重複を省きましょう
言葉の重複は物理的に文章を長くし、繰り返しによりくだい印象となり、文章のリズムや流れを損なってしまう。

3.具体的に書きましょう
意味の重複を省くことが、伝わる文章になります。

「おいしい」「楽しい」などの主観的表現や「長年」「とても大きい」などの抽象的表現は、相手に正しく伝わりません。

「おいしい」「楽しい」など具体的な数字を使い、主観的表現はなるべく使わず、「りんごのような赤いほっぺ」などと読み手の頭の中に絵が浮かぶようにすべきです。

そして、できた文章は第三者的な目で読み、音読し滑らかに読めない文章は、改善の余地があると語られました。

翌日は全国議会広報紙コンクールで、毎年優秀賞などを受賞している、吉岡町議会の編集委員会と交流しました。

紙面内には、「私も一言」「議会傍聴の感想」「議会クイズ」など議会に興味を持ってもらえる工夫が随所



吉岡町での研修風景

に見られ、より良い紙面作りのために、読者モニターを16名委託し、アンケートを行なうなど努力されていきました。(回収率100%)

最後に私たちの広報紙を総評して頂きましたが、改善への道筋が見えてきたように思いました。

読んでみたくなる「議会だより」を作っていきたいと考えていますので、忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

議会だより編集委員会
委員長 野元 三夫

パートナーシップの点検、子育て支援の視点から

11月4日 児玉地区世代間交流センター

軽井沢町、立科町、御代田町議会議員の研修会が、社会福祉士・精神保健福祉士であり、佐久穂町で保護者や保育士の発達相談を行っている小林有里先生を迎え、開催されました。

演題は「パートナーシップの点検、子育て支援の視点から」です。小林先生は三年前、サロンを運営する中で、母親が子育てについて御主人や家族から理解を得られずに、孤立した状況にある事を感じ、孤育て予防を理念とし、活動をされています。

今回の講演では、既存の子育て支援の現状や孤育てを防ぐ手立てを教えてくださいました。現在の子育て支援は、子どものニーズのみ注目をしている、母親のある程度の社会性や周囲の支えがないと、いろいろな支援の場に参加が

来ない状況にあります。本来に支援を必要としている人に支援の手が届いていない今、個別訪問のような、歩み寄っていく支援が必要となっています。

また、母親の孤立感が高まってしまふと、うつや虐待に繋がってしまうため、予防が必要です。それには、パートナーに寄り添ってもらえる事が一番です。第一子を出産する前に自らの育ちや互いの違いを知る、パートナーシップの点検など夫婦で話し合えるプログラムや父親学級などの支援も必要となっています。



そして、講演の最後にはカナダで行われている母親支援（フーディーズ・パートナー）に

池田 るみ

議員定数・議員報酬のあり方について

佐久市・軽井沢町・御代田町・立科町議会合同議員研修会
11月17日 佐久平プラザ21

(株)地方議会総合研究所 所長 廣瀬和彦氏を講師に1市3町議会合同議員研修会が開催された。

演題は、「議員定数・議員報酬のあり方について」で、大変関心のある内容であった。

冒頭、議員定数・議員報酬を考える時、念頭に置くこととして「議員報酬・定数はまず削減ありき」というところから進んでいく。そして削減ありきの中であとはどれだけ減らそうかというところに関心を持たれて進んでいくのが議員報酬・定数問題である。

また、議員報酬・定数の削減は議会改革の一つだと言ったのが一般的な状況だと思ふ。ただ、議会改革ではないので、その事を念頭に置いて頂きたい。

議員定数を考える場合、どのような視点で考えれば

良いかということ

- ①議事機関としての権能
- ②立法機関としての権能
- ③監視機関としての権能

この3つの中でどれを取るかは議員が考える事。次に議員定数の算定方式だが6つの方法がある。

- 先生の推薦は、常任委員会数方式か住民自治協議会方式と言ったことであった。
- 続いて議員報酬に移るが、まず議員報酬決定要因は、①各団体の議会活動状況②財政事情③住民所得水準④類似団体との比較均衡⑤世論の動向 の5つである。

次に議員報酬算定の基準方式は7つ程あるが、ここでは紙面の都合で割愛する。

まとめとして、議員報酬・定数は、なかなか住民の納得を得るのは難しいが、住民の方々に理解してもらえよう様に様々な方法で働き

かけをしていく必要がある。

これから先の議員のなり手とかを含めて最低限報酬については、生活給に近い形で出せるように、そして定数については、これまでさんざん減らしているのに、これ以上減らして何がプラスになるのかの考え方を踏まえ、議会としての役割を果たせるだけの体制を考え、定数・報酬についての合議をする事が大切であると感じた。

五味 高明



『町民と議会の語る会』を開催します

町議会議員による議会報告と意見交換会です。

「議会がどのような取り組みをしているのか知りたい。」「まちづくりについて議員と話したい。」とお考えの皆さまはぜひお気軽にご参加ください。申し込みは不要です。



日時 / 2月15日(水)
午後6時30分～8時30分
場所 / エコールみよた 大会議室

内容

1. 議会報告

- ・議会の紹介と平成28年定例会の内容報告
- ・常任委員会の活動報告等

2. 意見交換会

テーマ「2万人のまちづくりに向けて」
まちづくりについてのご意見をお聞かせください。

【問い合わせ先】 議会事務局 (32) 3128